

12月9日(土)

多摩川線武蔵境駅付近連続立体交差事業において  
**武蔵境駅付近の約840mを高架化し、  
3カ所の踏切を解消します。**

西武鉄道(本社:埼玉県所沢市、社長:後藤高志)では、東京都、武蔵野市と共同で進めている多摩川線武蔵境駅付近(武蔵境駅~新小金井駅間)連続立体交差事業の進捗に伴い、12月9日(土)多摩川線武蔵境駅付近の約840mの高架化を予定しております。

これにより、中央線と併設している西武線内の3カ所の踏切を解消するほか、武蔵境駅のホームが高架に切り替わります。高架線路への切り替え工事は、12月8日(金)の終電車後に行い、翌日始発電車については通常通りの運行を予定しております。

多摩川線武蔵境駅付近の連続立体交差事業は、JR中央線の(三鷹駅~立川駅間)連続立体交差事業に合わせて、平成15年3月の事業認可に伴い、東京都、武蔵野市、当社を事業主体として、平成15年7月から事業を実施しています。

今回の工事により、中央線と併設している西武線の踏切が解消され、安全性の向上と交通渋滞の緩和が図られるほか、武蔵境駅は、エレベーター・エスカレーターを備え利便性が向上します。なお西武線の踏切は解消されますが、残る中央線の踏切は延長を短くしたうえで中央線が高架化されるまで残ることとなります。高架線路切り替え後は、引き続き駅部の残る1線分の高架橋および駅施設工事を進め、事業完了は平成20年度を予定しております。

当事業は道路整備の一環として、「ガソリン税・自動車重量税等」の財源をもとに、国土交通省の国庫補助により、東京都の都市計画事業として施行しています。

多摩川線武蔵境駅付近高架線切り替え工事および事業の概要は別紙の通りです。

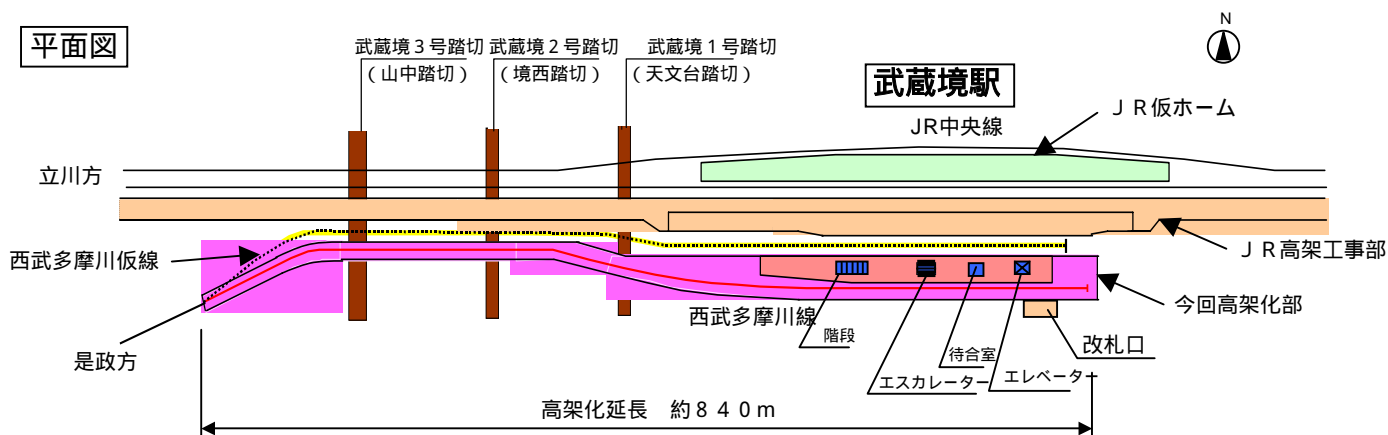


武蔵境駅南側完成予想図(イメージ)

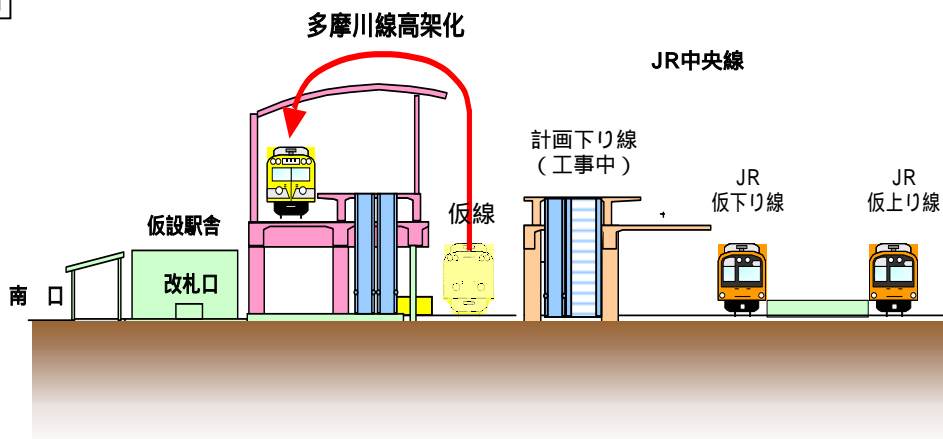
【別紙 1】

多摩川線武蔵境駅付近高架化切り替え工事概要

- 実施日時 平成18年12月8日(金) 終電車後  
 悪天候等により工事を行えない場合は、以下の予備日に実施します。  
 予備日 平成18年12月9日(土) 終電車後
- 実施場所 武蔵境駅付近～新小金井駅付近間
- 工事内容 武蔵境駅付近の約840mについて、現在使用している地上の線路から、高架線路へ切り替えます。また武蔵境駅のホームが高架化されます。改札口は現在の位置と変わりません。
- 工事の効果 高架線路への切り替えにより、3カ所の踏切を解消します。



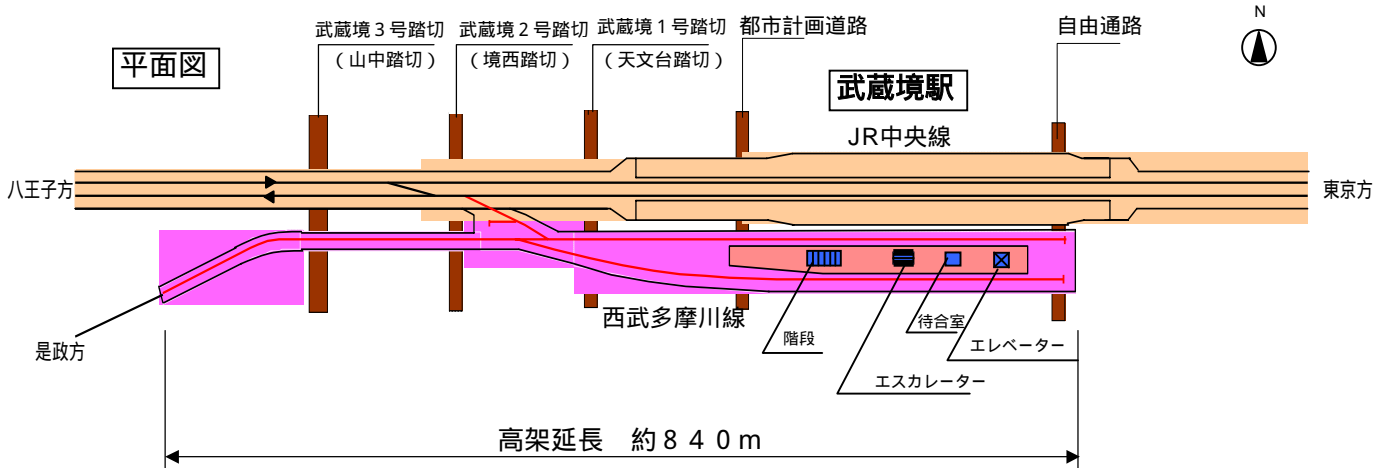
駅部横断面図 (Station Cross-section Diagram)



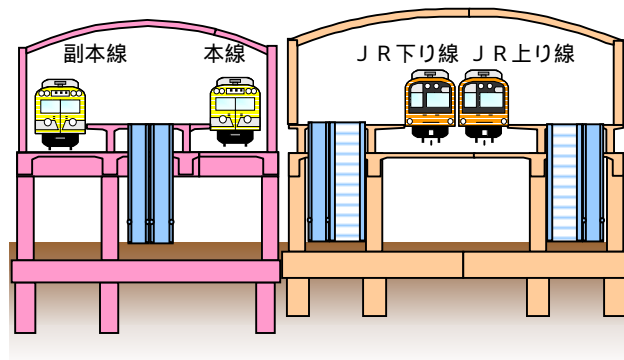
【別紙 2】

多摩川線武蔵境駅付近連続立体交差事業概要（参考）

工事区間	多摩川線武蔵境駅付近（武蔵境駅～新小金井駅間）	約 8 4 0 m
工事内容	駅部 1 面 2 線高架、一般部 1 線高架	
工期	平成 1 5 年度～平成 2 0 年度	
総事業費	約 8 0 億円	



横断面図



武蔵境 1Fコンコース平面図

